



1. 心臓に関する疾患

2. 糖尿病

3. 睡眠時無呼吸症

4. 土曜日診療

鬼は一そと
福は一うち

ホームページ



診療予約



2020年2月 診療カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

休診日 午後休診 18時最終受付

診療時間

午前9時半～午後1時、午後3時半～午後7時

住所：東京都中央区日本橋大伝馬町13-8
メディカルプライム日本橋小伝馬町3階
TEL:03-3639-3110 FAX:03-3639-3112
休診日：月曜日午後、土曜日午後、日曜日祝日

<今月の予定>

- 2月11日(火) 休診(建国記念の日)
- 2月13日(木) 18時最終受付
- 2月16日(日) FAF演奏会
- 2月18日(火) 14:05～14:50 地域健康講座
- 2月24日(月) 休診(天皇誕生日振替休日)

<お知らせ>

- ・1月より午後の診療が15:30～19:00となっています
お間違えないようお願いいたします
- ・2月16日に私の所属するオーケストラの演奏会があります。
ご希望の方は招待券を差し上げます。
- ・2月18日に健康講座を行います。今回は不整脈についてお話しします。



冬の札幌



私は大学の6年間を札幌で過ごしました。札幌といえば冬！ということで今回は冬の札幌の思い出についてお話したいと思います。

2月と言えば札幌雪まつりのシーズンです。さぞかし楽しい思い出があると思うかもしれませんが、残念ながら毎年2月は大学の試験週間で、雪まつりを楽しむ余裕は全くありませんでした。雪まつりは開催前に自衛隊が雪を運んで準備している様子と、終わった後の残骸？ばかりが印象に残っています。6年間で一度だけ2月に母が札幌に遊びに来た時に一緒にまわったことがあります。当時も人が沢山いて人の後ろをひたすら歩いてたように記憶しています。

雪の札幌の街は幻想的で千葉県育ちの自分にとってはとても新鮮でした。北大のキャンパスは自然が豊かに残されており、雪の中、原生林を一人歩いていると大昔へタイムスリップしたような気分になったものです。

自分が所属していた北大交響楽団の練習場所があるサークル会館は原生林の先、広大な北大農園の隣にありました。冬のある日オーケストラの練習中に窓から外を眺めると、雪で覆われた北大農園とその先に見える藻岩山が雪に煙ってみえました。

その時は確かシベリウスの交響曲を練習していたと思うのですが、そのあまりに景色にぴったりの曲想にジーンと感動したことを今でもよく覚えています。北大交響楽団はシベリウスの曲をしばしば演奏しておりましたが、シベリウスの曲想が札幌の冬の景色とマッチするからではないかと思っています。

全然関係ないのですが、トワエモアが歌った「虹と雪のバラード」という曲をご存知でしょうか？これは1972年の札幌オリンピックのときのテーマソングです。私は生まれたばかりで当時の記憶はないのですが、以前少年合唱団が歌っているのを聞いて感動して、YouTubeでさがしてみたことがあります。みんなの歌versionというのがあって、その最初に編曲 川越守 というクレジットが載っていました。川越守！先生は我々北大オーケストラの指揮者です。こんなところで先生の名前を拝見するとは…。懐かしさで胸がいっぱいになりました。（「虹と雪のバラード」はいい曲なので是非、聴いてみてください。）

さて、大学を卒業してからはほとんど札幌を訪れておりませんでした。ある冬のスキーシーズンに十勝のサホロへ家族でスキーに出かけたことがあります。東京へ帰る日にあいにくの大吹雪で飛行機が飛ばないことになりました。帯広空港では翌日の便も席が空かないかもしれないとのことで、千歳空港でキャンセル待ちをしたほうがよいと考え、その日は急遽札幌で一泊することにしました。一晚札幌で過ごした翌日、夜までキャンセル待ちがでないとのことだったので、日中に家族4人で吹雪の中、北大のキャンパスを散策しました。

子供たちはめったに見ることのできない大雪に大喜びで大学のキャンパスの中を歩き回りました。自分が学生時代過ごした大学のキャンパスを家族で巡るという幸せは何事にも代えがたいものがありました。子供たちのはしゃぐ姿を見て、フライトがキャンセルになった憂鬱な気分もまったくなくなり、楽しい旅の思い出になりました。

文責 齋藤 幹

